

ゆめごうり

夢のある故郷を目指して

JA Shin-iwate PR-Magazine



2025

11

November

No.345



特集

就農ストーリー ～農家への道のり～

各地の話題 夢ネット

営農情報・畜産情報・おしらせ など

 JA新いわて

資源の有効活用で 経営の継続を



農事組合法人 宇部川ファーム 【久慈市・宇部町】

久慈市で主食用米10 ha、粳米サイレージ38 ha、ハウス5棟でミニトマトを作付けする農事組合法人宇部川ファーム（代表理事：鹿糠沢津嘉さん）は設立から11年目を迎えている。地元の豚ぶんペレットの活用や、山形村短角牛のエサとなる粳米サイレージの製造など、限られた圃場や施設、地域資源を最大限に活用している。稲作を中心とする経営の中で、地域資源を有効活用した経営を進めている。

地域資源の有効活用へ

平成26年12月に設立し、平成27年から実際の作業が始まった。当初は主食用米、飼料用米、WCS（ホールクロップサイレージ）の組み合わせを予定していたが、WCSの収穫機への設備投資も大きく、粳米サイレージへと切り替えた。飼料用米と比べても、乾燥や粳摺りの行程が省けるため、作業効率にもつながっている。粳米サイレージは、刈り取った生粳を粉碎機

に入れてすりつぶした後、乳酸菌を添加してパックし、2カ月発酵させて出来上がる。久慈市で生産される山形村短角牛は、国産のエサにこだわ

り生産されているため、試験を重ね、現在は全量をいわてくじ短角牛肥育部会に供給している。5年目には、主食用米と粳米サイレージの現在と同じ2本柱の生産となった。

また、野田村で養豚業を営む（株）のだファームの豚ぶんを使った豚ぶんペレットを活用したコスト低減に向けた栽培実証に令和4年から取り組み導入に漕ぎつけ、コスト削減にもつながっている。地域にある資源を有効に循環させる上でも、宇部川ファームの存在意義も高くなっている。

一方で、長期雇用に繋げるために水稻の育苗ハウスで夏場の収入源としてハウレンソウを作付けしていたが、プール育苗のための均平する作業の労力がかかるという課題があった。鹿糠沢さんは「県内での導入は後発であったが、作業効率のた

め全農式トロ箱養液栽培システム「ういずOne」を導入した」と話す。平成30年に1棟に導入しミニトマトを作付けした。令和4年には5棟まで増やし、令和5年には全農オリジナル品種のミニトマト「アンジェレ」に品種を切り替えた。

アンジェレは、へたなしのバラ出荷で収穫調整作業の効率化にもつながっている。また、事前に価格が決まるため計画を立てやすいメリットもある。

経営を継続していく

主食用米は10 haに作付けしているが、令和5年から岩手県オリジナル水稻品種「白銀のひかり」の試験栽培を始めた。久慈地域白銀のひかり栽培研究会の副会長として20aに作付けし、一般栽培が始まった今年は全量「白銀のひかり」に切り替えた。実際に栽培して「倒伏しづらく、収量も見込めそうだ」と手応えを感じている。「白銀のひかり」は、良食味の「銀河のしずく」を母に持ち、粒が白くて大きく食味が

優れ、倒伏や多収も期待でき、地域でも期待が高まっている。将来に向けては「継続できる経営を」と話す鹿糠沢さん。現在は、刈り取った後の稲わらを使った稲わらサイレージに挑戦している。当初は稲わらロールを考えていたが、乾燥が必要で天候に左右されるため、刈り取りと同時にできるサイレージの試験を進めている。また、ミニマトは霜が降りる11月頃で収穫が終わるため、冬場にできる品目も模索している。

水稻を中心とした経営を進める中で畜産業との関わりも深まり、地域資源の有効活用につながっている。一方、経営を継続させていくための挑戦は今後も続いていく。



代表理事 鹿糠沢津嘉さん
晩酌を楽しみに、日々農作業に励んでいます。焼酎が1番好きですね。



事業の継続を進めるなかで、粳米サイレージの生産やトロ箱養液栽培システム「ういずOne」を使った園芸品目の導入、豚ぶんペレットを活用したコスト低減、湛水直播栽培など、様々な取り組みを実践しています。



定年後に始めた 農業にやりがい

現在の経営内容

ピーマン4a

農業を始めようと思ったきっかけ

定年後、ハローワークで自分に合う仕事を探していたとき、妻から新規就農相談会があると教えてもらい、参加したのが農業を始めるきっかけになりました。

就農に向けて何から始めたか

新規就農相談会の時は、おすすめしている品目を説明してもらいましたが、その後にJA職員と相談してピーマンを作付けすることを決めました。畑にする所の土壌診断をして、翌年の就農に向けて動き始めました。

困ったこと

始めるための資材を揃えるのが大変でした。潰れたハウスのパイプをもらったりしました。

助かったこと

圃場視察などJA担当者や生産者同士の交流があり、分からないことを教えてもらい助かっています。LINEでも聞けるので不安はないです。

失敗談

定植した後に強風で半分以上、茎が折れたり葉が枯れたりしました。でも、仲間から苗を譲ってもらったり手伝ってもらいリカバリーすることができました。

今、思うこと

農業はやった分が返ってくるので張り合いがあります。まわりの生産者にも恵まれ、若い方でも気兼ねなく教えてくれるので助かっています。今年の反省点はJAに相談して改善し、仲間と楽しみながら動けるうちは続けていきたいと思っています。



おおくぼ ひろゆき
大久保 弘行さん(62歳)

〔久慈市〕
2025年4月就農
〔前の職業〕 遠洋漁業の漁師



計画を立て動くのが 経営のやりがい

現在の経営内容

キュウリ15a、ピーマン22a、ミニトマト2.5a、カボチャ10a、サツマイモ10a

農業を始めようと思ったきっかけ

自分に裁量がある仕事に興味があり、米の種まきの手伝いをしておもしろさを感じ、農業での起業を考えました。

就農に向けて何から始めたか

宮古農業改良普及センターに相談に行き、研修先を紹介してもらいました。イチゴに興味を持っていたので、イチゴと野菜をやっている農家で2年間研修しました。

困ったこと

希望する農地がなかなか見つからなくて、何力所か見に行き今の圃場に決めました。

助かったこと

地域の農家がフレンドリーに対応してくれるので助かっています。指導でも助けられ農業のノウハウを教わっています。また、農業を始めるに当たり、研修制度があるのでとてもありがたいと感じました。

失敗談

自分でできる規模感が分からず、1年目はキュウリを20aに作付けしましたが収穫しきれませんでした。また、機械からオイルが漏れていることに気付かず壊してしまったこともありました。

今、思うこと

農業は、やってみたら特別なことではないんだと感じました。何か失敗してもやり方などを変えていけば良いと思います。農業をやるか悩んでいる人がいるのであれば、助けてくれる人がでてくと思うので、まずは始めてみればいいのかと今は思います。



まつだてりょう
松館 怜さん(34歳)

〔宮古市〕
2022年1月就農
〔前の職業〕 山田町役場

特集

就農ストーリー

～農家への道のり～

新規就農の形態には、親元就農者、雇用就農者、新規参入者があります。農業に縁のない環境の中から農業に魅力を感じ、様々な業種から農業の世界に飛び込んでJA管内で活躍している生産者がいます。皆さんの農業に対する思いや、農家になるまでのそれぞれの歩みをご紹介します。





自分での経営目指し リンドウで就農

現在の経営内容

リンドウ40a、カリフローレ30a

農業を始めようと思ったきっかけ

海外でアパレル関係の仕事をしていた頃、自分でも経営したいと思い、一戸町の父の実家に畑があったと聞いて農業での独立を考えました。

就農に向けて何から始めたか

ネットで一戸町の農業を調べて、農業研修機関の一戸夢ファームの存在を知り、応募しました。2年間、研修でリンドウやトマトなど栽培を学びました。

困ったこと

実際に就農して感じたのが、作業の段取りがうまくいかないことでした。研修中に管理作業などは学びましたが、与えられて作業していたんだと今は思います。

助かったこと

JAや普及センター、役場などに良くしてもらい、人には恵まれていると感じています。

失敗談

カリフローレとリンドウの収穫がかぶる時期があり、作業が遅れて畑が雑草だらけになったりしました。

今、思うこと

まだまだ勉強していかなければならないと感じています。リンドウは一戸町の農業の中でも重要な品目なので、色々学んで経営を軌道に乗せていき、町オリジナル品種の作付けにも挑戦したいです。農業は大変なこともありますが自分の裁量で時間を作ることもできるので、農業を始めて良かったと思っています。



こまき けいすけ
駒木 啓佑さん(35歳)

【一戸町】
2024年4月就農
【前の職業】アパレル関係



人との出会いを これからも大切に

現在の経営内容

トマト127a（ハウス43棟）、イチゴ12a（ハウス3棟）

農業を始めようと思ったきっかけ

自分で経営してみたいと思い、地に足を付けた産業である農業をやろうと決めました。

就農に向けて何から始めたか

まずは会社を辞め、農業改良普及センターに相談しました。最初は岩手町の農家でアルバイトをし、色々相談する中で少ない農地でできるトマトを勧められ、その後、八幡平市のトマト農家で研修しました。

困ったこと

農地を探すのに苦労し、農業委員会にも足を運びました。また、当時は新規就農の支援も確立されておらず、生活が厳しくアルバイトをした時期もありました。

助かったこと

トマトの研修先では、技術面だけでなく経営面でも勉強させてもらい助かっています。また、多くの人に協力してもらい初期投資を抑えることができました。

失敗談

慣れてきた頃に片付けなどをため込んでしまっていました。

今、思うこと

自分で経営してみて感じたのが、地域の人との関わりも増え、勤めている時よりお世話になることが多くなりました。2年前からイチゴの栽培も始めて色々と学ぶことで、トマト栽培も楽しく収量も増えてきました。人との出会いは自分の成長にも繋がるので、これからも大切にしていきたいと思っています。



たまやま りゅうすけ
玉山 龍輔さん(49歳)

【盛岡市】
2013年4月就農
【前の職業】建設業



日本一の産地を 盛り上げていきたい

現在の経営内容

畑ワサビ60a

農業を始めようと思ったきっかけ

父の実家が宮古市にあり、空き家と耕作放棄地を活用するために岩手県の農業について調べていたところ、畑ワサビ生産量日本一の産地であることと、地域おこし協力隊の制度を知ったのがきっかけになりました。

就農に向けて何から始めたか

岩泉町の地域おこし協力隊に応募し、岩泉町に移住し協力隊として畑ワサビ栽培を手伝いながら技術を学びました。指導体制もしっかりしていて、畑ワサビ農家さんから丁寧な指導を受けることができました。

困ったこと

就農に向けて圃場探しに苦労しました。現在の圃場は役場から紹介してもらいました。

助かったこと

積極的に地域行事に参加したおかげか、地域内での認知度が高まり、何かあった時に助けてくれる方が多く感謝しています。

失敗談

畑ワサビの種を自家採取し、川で保管していたら大雨で流されてしまいました。また、圃場のまわりにネットを張るのが遅れて鹿に食べられたりと、色々ありますね。

今、思うこと

地域おこし協力隊という制度は、とてもありがたいと感じました。農業は天候などの影響もあるので、今まで通りが通用しない難しさもありますが、手伝ったり手伝ってもらっての農作業は楽しく感じています。日本一の畑ワサビ産地を盛り上げて、次の世代が自発的に継承したいと思ってもらえるような経営をしていきたいです。



かりや しょうま
刈屋 翔磨さん(33歳)
ほうに
法爾さん(36歳)

【岩泉町】
2025年7月就農
【前の職業】翔磨さん「海上自衛隊」、法爾さん「看護師」



手伝いがきっかけで 農業経営の道へ

現在の経営内容

露地キュウリ23a、ハウスキュウリ3a、ネギ20a

農業を始めようと思ったきっかけ

知り合いのキュウリ農家を手伝ったのがきっかけでした。農業には定年がなく、自分で考えて働けるとうメリットを感じました。

就農に向けて何から始めたか

知り合いの農家で働きながら栽培技術を学び、就農に向けて準備してきました。その後、当時住んでいた地域では希望する畑がなく、妻の実家の一戸町での就農に向けて役場やJAに相談しました。

困ったこと

思っているような畑を探すのに苦労しました。あとは、初期費用ですね。始めてからは、キュウリの最盛期の時には作業が追いつかず、人手が足りていないのも課題です。

助かったこと

トラクターがありませんでしたが、地域に耕起作業してくれる方がいて助かりました。品目的に年に数回しか使わないので感謝しています。

失敗談

就農してから初めてネギを作付けしましたが、定植が遅れ作業を理解できておらず、病気が付いて全滅させてしまいました。

今、思うこと

農業は頑張った分が返ってくるのがいい点です。また、役場やJA、地域の方々が協力的なので新規で始めやすいところだと思います。農業を続けていくなかで協力してもらえる環境は大事だと感じています。今後は冬から春に収入を得られる品目にも挑戦していき、雇用や法人化も考えていきたいと思っています。



おほない まさゆき
小保内 雅行さん(42歳)

【一戸町】
2021年4月就農
【前の職業】スポーツ施設運営



ホームページから
最新情報を
ご覧いただけます

各地の話題

夢ネット



久慈

久慈エリアでピーマン好調 9月末時点の前年同期比 133%

久慈営農経済センター管内で、ピーマンの生産拡大が進んでいます。夏場の高温や少雨の影響で苦戦するなか、9月末時点の販売額が2,150万円(前年同期比133%)となりました。同センターでは、主力のハウレンソウに次ぐ新たな園芸品目の柱の一つとして推進し、令和3年から栽培が始まり、現在は21人が作付け。生産者に寄り添った指導を心掛け、定期巡回や現地指導会の他、LINEグループなどを活用しています。



定期巡回で、ステージごとのポイントを確認する生産者（左）

南部

リンドウ販売額、過去最高を更新 南部地域花卉生産部会

南部営農経済センター管内で、9月末時点のリンドウの販売額が1億3,032万円（前年度比125%）となり、過去最高となった昨年度の実績を突破しました。本年度の出荷は10月末まで続きます。同センターでは、新規栽培者の始めやすさを意識し、毎年圃場見学会を開く他、部会と協力してマルチ張りなど圃場作りのサポートや、部会員の作業を手伝い、知識・経験を積める場作りを進めてきました。



生育状況などを確認する生産者（右）とJA職員

宮古

宮古エリアと久慈エリアの野菜農家が交流 先進地農家研修で久慈地域を訪問

宮古地方農業振興協議会は10月2日、若手園芸生産者の先進地農家研修を開き、宮古地域の生産者ら10人が参加しました。研修は、普代村の中村駿人さんと、野田村の新山麗佳さんの圃場を訪れ、暑さ対策や雇用関係、栽培管理のポイントなどを学びました。また、久慈地域の生産者も加わり意見交換会が行われ、就農のきっかけや将来の夢、現状の課題などを語り合いました。



宮古エリアと久慈エリアの野菜生産者

新しいわて

一致団結して上位入賞目指す 第16回全日本ホルスタイン共進会出品者壮行会

J Aは10月9日、葛巻町のモウモウ館で第16回全日本ホルスタイン共進会出品者壮行会を開きました。生産者や関係者ら約100人が出席し、一致団結して上位入賞を目指すことを誓いました。経産牛第13部、第14部に出品する久慈市の外谷辰也さんは「県代表として責任をもって大会に臨みたい」と決意を述べました。同大会でJ A管内からはホルスタイン種11頭、ジャージー種2頭を出品します。



出品者を代表して決意を述べる外谷さん

久慈

越田さん初の名誉賞に 九戸地方短角種子牛共進会

久慈市とJ Aは10月16日、久慈市山形町の旧九戸家畜市場跡地で第77回九戸地方日本短角種子牛共進会を開き、31頭が出品。越田里巳さん出品の「あめ」が名誉賞に輝きました。審査員のJ A全農いわて畜産酪農部和牛登録室の森崎太久さんが厳正に審査しました。名誉賞以外の入賞牛は次の通り。第1部1席「さきにしき」(短角牛応援団(小柳)) 第3部1席「たつはな」(柿木敏由貴)



名誉賞に輝いた「あめ」と関係者ら

八幡平

八幡平バイオレット 植え付け作業進む

八幡平市で、ニンニク「八幡平バイオレット」の植え付け作業が10月に最盛期を迎えました。同市では、機械による栽培体系を確立し、ニンニクの産地化を目指しています。同市は平成29年、県内で唯一の在来種「八幡平バイオレット」を種苗登録。一般的な品種よりも20%程度重く、紫色の外皮が特徴です。その特徴を生かした1パック包装での出荷もしています。



機械によるニンニクの植え付け作業

宮古

名誉賞に佐藤さん 宮古地方日本短角種子牛共進会

宮古地方農業振興協議会は10月10日、岩泉町乙茂おでんせ広場で第25回宮古地方日本短角種子牛共進会を開きました。41頭が出品され、名誉賞および第2部の優等賞には、岩泉町の佐藤安美さん出品「いおな」が輝きました。優等賞には第1部で岩泉町の佐々木松郎さん出品「はるふく7」が、第3部では岩泉町の佐藤崇さん出品「あおい」が入賞しました。



名誉賞に輝いた佐藤さん出品「いおな」

八幡平

エンジェルウィングス 八幡平市で出荷開始

国内では八幡平市だけで生産されている、南米チリ原産の観葉植物「エンジェルウィングス」の本年度の出荷が10月上旬から始まりました。厚みがあって白い産毛で覆われたフェルト生地のような葉で、天使の羽のような見た目が特徴でクリスマス時期に向けて需要が高まります。出荷は翌年春まで続き、本年度は37,000ポットの出荷を予定しています。



出荷作業をするJA職員

新しいわて

グローバルGAP更新審査 レタスとブロッコリー

J Aは10月21～24日の4日間、グローバルGAP団体認証と社会的側面リスク評価（GRASP）の更新審査を受けました。県の関係部署やJ A全農いわての担当者が立会いする中、圃場ごとに記載された作業日誌などの書類や農場内のチェックを受けました。現在はレタスとブロッコリーの17農場がグローバルGAPの団体認証を取得しています。



審査を受ける生産者と関係者

新しいわて

「白銀のひかり」デビュー ロゴマークお披露目

本年度から一般販売される、岩手県オリジナル水稻品種「白銀のひかり」のデビューイベントが10月26日、盛岡市内で開かれました。10月28日の販売を前に、(株)ヘラルボニーの契約作家、小林寛さんが制作したロゴマークがお披露目され、ロゴマークに込めた思いや白銀のひかりの特徴が紹介されました。また、先着100人に白銀のひかりがプレゼントされました。



お披露目されたロゴマークと関係者



ホームページから
最新情報を
ご覧いただけます

各地の話題

夢ネット



↑宮古エリアで10月中旬、秋の味覚「マツタケ」の出荷が最盛期を向かえました。多い日には100箱（1箱400g）を超えるマツタケを出荷しました。



↑東北唯一の闘牛「平庭闘牛大会」の千秋楽となるもみじ場所が10月19日、平庭闘牛場で開かれました。県内外から1,300人が訪れ、迫力ある取り組みに歓声を上げました。



↑宮古地方農業振興協議会は10月23日、宮古市内でパート希望者を対象とした農作業体験会を開きました。6人が参加し、ピーマンの調整作業などを体験しました。



↑岩手町立一方井小学校の5年生は10月3日、6月に田植えをした田んぼアートの稲刈りに挑戦しました。昔の農機具を使った脱穀作業も体験し稲作への理解を深めました。



↑岩手町浮島地区で、一般参加者約40人が参加して田んぼアートの稲刈りが行われました。昼食はJ A女性部岩手支部が作るとん汁などが用意され、地元食材への理解も深めました。



↑しずくしい産業まつり2025が10月18、19日に雫石町総合運動公園で開かれ、「雫石牛」焼肉の販売、牛乳や「銀河のしずく」の無料配布が行われ盛況でした。



↑第43回岩手町産業まつりが10月18、19日に岩手町スポーツ文化センターで開かれ、女性部岩手支部が同町産の食材にこだわった豚汁や玉こんにゃくを販売し好評でした。



←子育て中の女性を中心となって活動する「花っ娘」が運営する「Dry flower shop 花っ娘」が10月23日から本年度の営業を始めました。営業は翌年3月11日まで。



↑第35回岩手県わさび品評会の表彰式が9月27日、岩泉町で開かれました。畑わさびの部の最優秀賞に岩泉町の吉澤佳奈美さんが、優秀賞に杉山立真さんが輝きました。



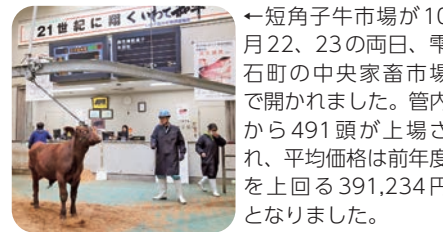
↑岩手町立一方井小学校の2年生は10月17日、農事組合法人一方井地区営農組合の圃場で自分たちが植えたサツマイモの収穫を体験し、畑に元気な声が響き渡りました。



↑久慈市の市短角牛基幹牧場（エリート牧場）は10月10日、今年の閉牧を迎え、5月から広大な牧場で過ごしてきた短角牛の親子はトラックに乗り、それぞれの牛舎に戻りました。



↑(株)J Aライフサービスは10月18日、J Aやすらぎホール玉山通夜会館で人形・ぬいぐるみ供養祭を開き、733体の人形・ぬいぐるみを感謝の気持ちを込めて供養しました。



←短角子牛市場が10月22、23の両日、雫石町の中央家畜市場で開かれました。管内から491頭が上場され、平均価格は前年度を上回る391,234円となりました。

宮古

山崎さん、山屋さんチャンピオンに 岩手県沿岸ホルスタイン共進会

宮古地方農業振興協議会は10月11日、第60回岩手県沿岸ホルスタイン共進会を岩泉町乙茂おでんせ広場で開き、未經産牛20頭、経産牛10頭が出品されました。山崎敏さん出品の「ドラゴンブルー ボルドア ハッピー チップ E T」がグランドチャンピオンに、山屋祐太さん出品の「アデイロン DB ハーゲン パタン ブルツク」がジュニアチャンピオンに輝きました。



グランドチャンピオン牛(左)とジュニアチャンピオン牛(右)と関係者ら

八幡平

花育授業で理解深める 「安代りんどう」学ぶ

八幡平市立安代小学校と田山小の児童22人は10月15日、4回目の花育授業を行いました。児童らは、リンドウの生産に関わる施設を見学し、地元で生産される「安代りんどう」への理解を深めました。花卉集出荷場では、J Aの担当者が同市のリンドウの作付面積や出荷本数、出荷作業などを説明しました。また、リンドウを使ったアレンジメントにも挑戦しました。



リンドウの出荷について学ぶ児童ら

二戸

収穫の秋を満喫 二戸エリアで合同収穫祭

二戸エリア・産直ふれあい二戸第6回合同収穫祭が10月11日に二戸支所特設会場で開かれました。安心・安全な農畜産物の販売やお振る舞いなどさまざまなイベントが催され、多くの来場者でにぎわいました。「いわて牛」焼き肉のお振る舞いには行列ができるなど大人気。また女性部は軽食などを販売し、青年部はポップコーンの無料配布を行い好評でした。



好評だった「いわて牛」焼肉お振る舞い

新しいわて

全国のリンドウ農家が一堂に 「第3回りんどうサミット」に150人

全国のリンドウ生産者が一堂に会する「第3回りんどうサミット」（同実行委員会が主催）が10月2日、山形県内で開かれました。「ここから始まる未来への挑戦」をテーマに、生産者と関係者約150人が参加しました。同サミットは全国のリンドウ生産者とつながりリンドウ業界を盛り上げることを目的に開かれ、北海道から沖縄県まで全国の生産者が参加し、高温対策の取り組みなど意見を交わしました。



3回目の開催となる「りんどうサミット」

東部

キヌサヤ出荷が好調 岩手町の坂本広美さん

岩手町御堂の坂本広美さんの圃場では、10月にキヌサヤの出荷が最盛期を迎えました。坂本さんは8月下旬に種まきし、9月中旬より1日平均30～40ケース（1箱1kg）を出荷。近年の猛暑対策として、種まきの時期を遅らせたり、マルチに穴を空けて熱を逃すなどの対策を講じており「キヌサヤは軽量で扱いやすい品目なのでおすすめ」と話します。



キヌサヤを収穫する坂本さん

家畜市場成績 (JA新いわて分) ※税込

■ 10月15日 (南部・八幡平・東部)

和牛子牛	南 部		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	kg単価	前月価格差
	雌		57	746,900	316,800	578,620	270	2,142	-22,045
	去 勢		50	990,000	523,600	701,602	313	2,244	-23,822
	合 計		107	990,000	316,800	636,088	290	2,193	-33,523
	八幡平		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	kg単価	前月価格差
	雌		31	715,000	524,700	622,991	290	2,152	33,618
	去 勢		39	943,800	463,100	725,690	312	2,325	-3,060
	合 計		70	943,800	463,100	680,208	302	2,252	13,642
	東 部		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	kg単価	前月価格差
	雌		71	772,200	442,200	611,228	282	2,164	24,129

和牛子牛	去 勢		91	922,900	331,100	720,367	306	2,351	10,647
	合 計		162	922,900	331,100	672,535	296	2,273	12,771
	合 計		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	kg単価	前月価格差
	雌		159	772,200	316,800	601,831	279	2,154	10,264
	去 勢		180	990,000	331,100	716,308	309	2,316	-1,923
	総 計		339	990,000	316,800	662,616	295	2,244	-1,462

■ 10月17日市場 (南部・久慈・二戸・宮古)

和牛子牛	南 部		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	kg単価	前月価格差
	雌		5	617,100	512,600	551,540	243	2,268	-62,260
	去 勢		8	763,400	653,400	697,813	300	2,327	-12,898
	合 計		13	763,400	512,600	641,554	278	2,307	-14,380
	久 慈		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	kg単価	前月価格差
	雌		36	705,100	480,700	601,241	293	2,053	-12,146
	去 勢		60	880,000	463,100	713,735	321	2,226	-5,878
	合 計		96	880,000	463,100	671,605	310	2,165	-8,297
	二 戸		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	kg単価	前月価格差
	雌		55	853,600	503,800	604,383	291	2,076	-14,048

和牛子牛	去 勢		78	854,700	468,600	731,526	325	2,252	14,810
	合 計		133	854,700	468,600	678,708	308	2,164	-4,955
	宮 古		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	kg単価	前月価格差
	雌		18	720,500	506,000	640,872	302	2,124	33,829
	去 勢		24	836,000	498,300	701,800	312	2,248	-2,603
	合 計		42	836,000	498,300	675,688	308	2,197	4,263
	合 計		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	kg単価	前月価格差
	雌		114	853,600	480,700	606,612	291	2,082	-7,346
	去 勢		170	880,000	463,100	719,374	320	2,246	4,642
	総 計		284	880,000	463,100	674,110	309	2,185	-3,617

スモール	9/22～ 10/20 市場	雌						雄						合 計					
		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	kg単価	頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	kg単価	頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	kg単価
	乳 牛	7	89,100	1,100	34,185	63	540	135	9,900	1,100	28,241	59	477	161	99,000	1,100	29,202	60	488
	F 1	85	190,300	17,600	133,747	58	2,312	147	246,400	2,200	145,357	58	2,496	232	246,400	1,100	141,104	58	2,429
	合 計	111	190,300	1,100	110,426	59	1,868	282	246,400	1,100	89,291	59	1,522	394	246,400	1,100	95,261	59	1,620

枝肉販売成績 (9月) ※税込

品 種		頭数	平均重量	平均単価	平均販売額	総販売額
黒毛和種	去勢	84	539	2,227	1,205,320	101,246,878
	雌	26	415	2,165	928,841	24,149,866
日本短角種		37	439	1,833	807,889	29,891,884
肉 豚		11,715	73	577	46,452	544,189,473

営農情報

11月
園芸

来年度に向けた
リンゴの管理作業

二戸営農経済センター 二戸地区担当課 松本 悠之



今回はリンゴの剪定から管理の情報についてお伝えします。

【冬季剪定】

毎年、良品質な果実を作るため、冬季剪定や夏季剪定の作業を行います。

冬になれば葉は完全に落ち、枝だけの状態になります。そのまま放置をしまつと伸びすぎた枝が絡み合つてしまつので、1月から2月にかけて、徒長枝や枯れ枝を中心に切り落とします。切る際には花芽に注意をして切る必要があります。

【夏季剪定】

夏季剪定では余分な枝葉を除去し樹勢を落ちつかせることが目的であり、8月下旬から9月上旬にかけて行います。具体的には30cmを超える直上枝を間引く他、30cm以下の新梢でも枝量の混み具合を見て日光や薬剤が通る程度に切り落とします。剪定を行うことで病害虫防除効果もあるので、リンゴを作っていくには必要な作業となります。

【誘引・捻枝】

わい性の早期結実のために必要な作業で、2〜3年枝でも状況に応じて行う必要があります。樹形によっては上下の誘引にとどまらず、枝の無い部分に左右に誘引することもあります。

新梢の場合は枝がまだ柔らかいので8月中下旬に行います。

【支柱立て・枝吊り】

冬の剪定が終わわり、春に良好な樹形をしている樹でも、新梢の伸びと果実の重さで枝が下がる場合があります。重く下がった枝が重なり合つてしまつと果実の着色に悪影響を及ぼします。また強風にゆすられて結果枝が折れる場合もあります。

そのため、支柱を入れて日が当たるようにする他、枝吊りをしてあげることが必要となります。

【最後に】

11月は収穫の真っ最中と思います。脚立での作業に十分注意し品質の良いリンゴをたくさん収穫しましょう。

畜産情報

牛舎衛生の
チェックポイント

久慈営農経済センター 畜産酪農課 泉山 祐介



③ 病原体の侵入防止

踏込消毒槽などを準備しましょう。糞便などにより消毒効果は減少するため長靴を洗つてから消毒槽に入りましょう。また、野生動物の侵入を防止するため出入り口の開閉、防鳥ネットの設置などの対策を行いましょ。

また、寒冷期は牛舎内の保温を気にするあまり、換気が不十分になると思ひます。換気が不十分だと牛舎内の結露により呼吸器粘膜を刺激・損傷してしまい、疾病の発生リスクが高まります。寒い日でも牛体に直接風が当たらないようにし、換気を行いましょ。太陽が出ている日中は短時間で窓を大きく開放し、曇りの日は窓の両脇をわずかに開けるなどこまめに空気を入れ替えましょ。

- ① 牛舎と牛床の衛生
牛床に汚れや糞尿が残っていないか、敷料がこまめに交換されているか、牛舎内が汚れていないか、整理整頓がされているかなど確認し、適切に消毒を実施しましょ。
- ② 飼槽、水槽の清掃
飼槽、ウォーターカップ、水槽に汚れが残っていないか、また、飼槽側に行くときは長靴の汚れを落とすようにし、汚れを持ち込まないようにしましょ。

実家に就農し、水稻と黒毛和牛繁殖を営んでいます。黒毛和牛は、すき焼きや焼肉などで食べることが多いです。また、狩猟免許をもっており罾猟をしますが、イノシシは食べやすくおいしいです。年末年始やお祝いなど、特別なときは黒毛和牛をぜひどうぞ！



たきさわ みさこ
滝澤 美紗子 さん(43)
【栗石町・長山】

お祝いに黒毛和牛を

あぐりトーク

今月のテーマは
「お肉」

わが家では、アイガモ農法による水稻の有機栽培に取り組んでいます。鴨はヒナから育て、田植え後からお盆前まで田んぼに放たれます。その後は肥育し、加工されて販売となります。鴨肉は出汁がよく出ておいしいので、鍋料理がおすすめです！

鴨肉は鍋がおすすめ



いわさき ゆうま
岩崎 湧馬 さん(23)
【盛岡市・生出】

おいしい短角牛肉！



さとう し の ぶ
佐藤 志寿 さん(42)
【岩泉町・大川】

いわずみ短角牛の肥育牛を生産しています。短角牛は赤身で脂肪分が少なく、ヘルシーで旨味の強いとてもおいしい牛肉です。家族でバーベキューするときは、よく短角牛肉を食べております。とてもおいしい牛肉ですので、ぜひ皆さんも食べてみてください！



ひらや ひろき
平谷 寛樹 さん(33)
【野田村・和野平】

野田村の「のだファーム」では、長年の品種改良によって、ご家庭でもおいしくいただける豚肉を生産しています。中でも、ブランドの「南部福来豚」は特別なエサを与えて育てています。多くの方に味わってもらうためにも、安全・安心な生産に努めています。

安全で安心な豚肉

ほっと
スマイル



すがわら れい な
菅原 玲菜 さん(25)
【二戸市・石切所】

二戸の魅力を
発信していきたい

今年から二戸市役所で広報を担当しています。昨年まで農林課だったので、取材先で知り合いの農家の方に会う機会があります。実家で農業をしているわけではなかったのですが、農林課のときは大変なことも多かったですが、たくさんの方とつながることができました。広報担当になり半年ほど経ちますが、二戸出身でも知らない場所やイベントがあり、「こんなことやってたんだ」と驚くことが多いです。二戸は産業や観光資源など魅力いっぱいの町なので、それらを発信していきたいです。

産地で活躍する皆さんの笑顔をご紹介します

今年4月に就農し、八幡平市でリンドウ33aを作付けしています。祖母の関係で夏休みにリンドウの手伝いをしたことがきっかけで、自分でもやってみたいと思いました。神奈川県から故郷の八幡平市に移り住み、リンドウ農家で2年アルバイトをしながら栽培技術を学んできました。まだ初めてのことも多く手伝わてもらいながらですが、「安代りんどう」のブランドに恥じないものを出荷していきたいです。生まれた土地を守るためにもリンドウの生産を維持し、生産者との交流もしていきたいと思っています。



すまいる産地

リンドウ栽培で地域の土地を守る



みうら あおい さん(28)【八幡平市】

わが家の
おくおくドリーム



八幡平市・兄川
せき 関
レネ エちゃん(9歳・奥)
レオくん(5歳・手前)
関 勇樹さん、ティアラさんのお子さん

いつもたくさんの
笑顔をくれてありがとう！

八幡平市・矢神

むらかみ え な
村上 恵菜 ちゃん(2歳)
村上 映人さん、春菜さんのお子さん

アンパンマン大好き恵菜ちゃん！
笑顔いっぱい
元気に育ちますように！





JAの概要 (9月末)	
●正組合員数	16,008人 (13,766戸)
●准組合員数	23,905人 (15,866戸)
●出資金	67億86百万円
●貯金高	2,684億03百万円
●貸出高	636億63百万円
●月末農畜産物販売額	284億41百万円
●購買品供給高	104億76百万円



みうら ゆうじ
三浦 裕司 さん(41)
【岩手町・久保】

今月の表紙

JA青年部 岩手支部

水稻と野菜の複合経営で、受託を含めると約10 haの水田の刈り取り作業をしています。野菜は春にピーマン苗、キャベツや小松菜など複数品目を作付けし、通年出荷することで安定雇用にもつなげています。



購買請求書・販売精算書等のペーパーレス化 および「電子帳票配信システム」利用登録について

当組合では、電子帳票保存法やインボイス制度などの法令対応、環境保全の取り組みとして、令和7年9月より、お手持ちのスマートフォンやパソコンから簡単に無料でご利用いただける「電子帳票配信システム」を開始しました。

10月に、ユーザーID・パスワードを記載したご案内のハガキをお送りしておりますので、早めにログインして内容の確認をお願いします。

お問合せは、最寄りの営農経済センターまでお願い致します。



むらログ
～ゆうた 開拓中～

テレビ岩手の情報番組「5きげんテレビ」の中のコーナーで「むらログ～ゆうた開拓中～」が始まりました。八幡平市で50年間手付かずだった約480坪の土地を開拓していくプロジェクト。俳優の渡辺裕太さんが「村づくり」に挑んでいきます。八幡平市で野菜や米を生産する高橋輝さんが、畑や野菜づくりをサポートしていきます。是非、番組をご覧ください。



渡辺裕太さん 高橋輝さん

5きげんテレビ (テレビ岩手)
月曜～木曜：午後4時45分～
金曜：午後3時50分～
※「むらログ」は金曜日の番組内で放送されます



理事会報告

9月29日に第9回理事会を開催し、次のことを決議しました。

＜第9回理事会＞

- 八幡平支所2階会議室
- 固定資産（内部サーバー・PC端末一式）の取得について
- 取引のリスク評価書（特定事業者作成書面等）の定例改正について



お肉

おたよりコーナー



部活、スポ少に忙しい孫たちの好物は肉!! 嬉しいこと、悔しいことがあっても、お肉に力をもらっています。パクパクおいしそうに食べてくれる孫たちの顔に、今度はスポ少最後の試合の日に焼肉パーティーを開こうと思っているバーバです。 (久慈市・Oさん)

この物価高の折、いい肉なんてなかなか口には入りません。でも私のお腹には50年以上かけて作られたきれいなサシの入ったお肉がたくさん! できるものならみんなで焼肉!! (二戸市・Oさん)

決まったものしか食べない3歳の孫。パパの実家(長崎県)から牛肉が送られてきたので、初めてすき焼きを作ると牛肉だけパクパク食べました。野菜も食べてほしいのですが…。 (岩手町・Tさん)

結婚してから食べたことのないお肉をたくさん食べています。猪肉、鹿肉、熊肉、煮たり焼いたりして食べ、加工した物もいただいて食べています。とても美味しいです。 (岩手町・Mさん)

お便りありがとうございます。(12月号)のお題は「今年の出来事」です。今年も、もう少しで終わりますが、あなたの今年の出来事について聞かせてください。掲載された方には**QUOカード(500円分)**をプレゼントいたします。広報誌への感想・ご意見などもお待ちしております。



応募フォーム

クロスワードパズル

②二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?

1	5	8		14		21
	6			15	18	
2			12		19	
		9		16		
3	7		13		20	
4		10		17		
		11				

ヨコのカギ

- ① 育つこと。七五三は子どもの——を祝う行事です
- ② ——果敢に若武者が戦う
- ③ 江戸時代のタクシーです
- ④ 秋の山を彩ります
- ⑥ 「豚」の音読み。——カツ
- ⑨ 金属の輪を長くつないで作ります
- ⑪ 旅先の体験を書き綴ったもの
- ⑬ 平安貴族の乗り物。モーと鳴く動物が引きます
- ⑮ よく晴れた日の、夕日の色といえ
- ⑰ 佐渡島にはこの鳥の保護センターがあります
- ⑲ ギターに張ります

タテのカギ

- ② 川辺や海岸で見られる冬鳥。東京都民の鳥です
- ⑤ 熱海と並んで有名な、伊豆半島東部の温泉地
- ⑦ 分別して出します
- ⑧ 雄弁は銀、——は金
- ⑩ 陶器よりも高い温度で焼きます
- ⑫ 耳の長い動物
- ⑭ 天高く——肥ゆる秋
- ⑯ 暦の上ではこの日から冬
- ⑰ 櫛(くし)の材料によいとされる木
- ⑳ 『源氏物語』の作者は紫——です
- ㉑ SLとも呼ばれる蒸気——

応募方法



応募フォーム

郵便はがきにクイズの答・郵便番号・住所・氏名(ふりがな)年齢・電話番号・JA事業についてまたは広報誌に対するご意見等をお書きの上、〒020-0667 滝沢市鶴飼向新田7-76 「JA新いわて」総務課宛にお送りください。また、応募フォーム、メールでも受け付けております。アドレスは、s-kouhou@jasi.or.jpまで。締切りは**11月30日(必着)**です。正解者の中から**抽選で10人の方にQUOカード(500円分)**をプレゼント致します。

9月号の答え【ラッカセイ】でした。

■クイズの当選者は次の方々です。(応募106通)

米澤 すすきさん (栗石町)	刈間澤 由広さん (久慈市)
野中 美也子さん (栗石町)	下田 敏郎さん (野田村)
下川原 美樹子さん (八幡平市)	小野寺 幸子さん (軽米町)
山崎 清子さん (八幡平市)	近藤 節子さん (一戸町)
金澤 直子さん (岩手町)	長澤 恵美子さん (宮古市)



彩り野菜入り肉まん

料理作者：山本 ミエさん（八幡平市・石名坂）

材料（5個分）

強力粉	100 g
薄力粉	100 g
砂糖	大さじ3
① ドライイースト	小さじ2
ぬるま湯	100cc
（夏場は水でOK）	
豚ひき肉	150 g
タマネギ	1/2個
キャベツ	100 g
片栗粉	大さじ1/2
② 醤油	大さじ1と1/2
ごま油	大さじ1
砂糖	大さじ1/2
ショウガ	適量
鶏ガラスープの素	小さじ1

つくりかた

- ① ①の材料を上から順番にボウルに入れ、ドライイーストにかかるとようにぬるま湯を入れる。粉っぽさがなくなるまで混ぜる。
- ② 混ぜづらくなってきたら台に取り出して5分ほどこねる。生地が大きさが2倍になるまで一次発酵させる（30分～1時間ほど）。
- ③ タマネギとキャベツをみじん切りにしてボウルに入れ、片栗粉をまぶして水分を吸わせる。豚ひき肉と②の調味料を加えて混ぜる。
- ④ 生地を5等分し、打ち粉をした台で丸く伸ばす。ヒダをつくりながら具材を包む。
- ⑤ 蒸し器にフッキングシートを敷いて15分ほど中火で蒸す。

ワンポイント 生地を一次発酵させることで、もちもちした食感になります。豚肉、タマネギ、キャベツ等で彩り鮮やか。生地に酒粕を練りこむと、さらに香りが良くなります。孫からリクエストされ、いろいろ種類が増えました。

あれも これも いいね 新しいわて



焼肉食べ比べセット



ヒレスステーキ



サーロインステーキ

山形村短角牛「焼肉食べ比べセット」

山形村短角牛のおうち焼肉
3部位の食べ比べセット

自然の中で育つ山形村短角牛の肉質は、低脂肪で味の良い赤身が特徴。焼肉食べ比べセットは、その山形村短角牛の上カルビ、赤身スライス、バラスライスと3部位の食べ比べができるおすすめの商品です。オンラインショップで購入でき、おうちでちょっと贅沢に味わうことができます。オンラインショップでは、他にもステーキの食べ比べセットや、しゃぶしゃぶやすき焼き用、希少部位も購入することができます。11月29日は「いい肉の日」です。地元で生産されるお肉を味わってみてください。

有限会社 総合農舎山形村

〒028-8713 岩手県久慈市山形町霜畑12-105
TEL:0194-75-2929 FAX:0194-75-2930
URL: <https://nousy.jp/>
【公式オンラインショップ】
<https://nousy.thebase.in>
※事前連絡による予約販売も可能です。

